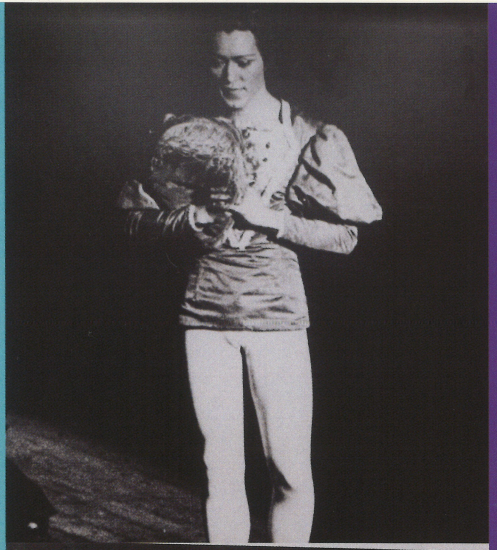
島根が生んだ舞踊の鬼才、その風を今に。

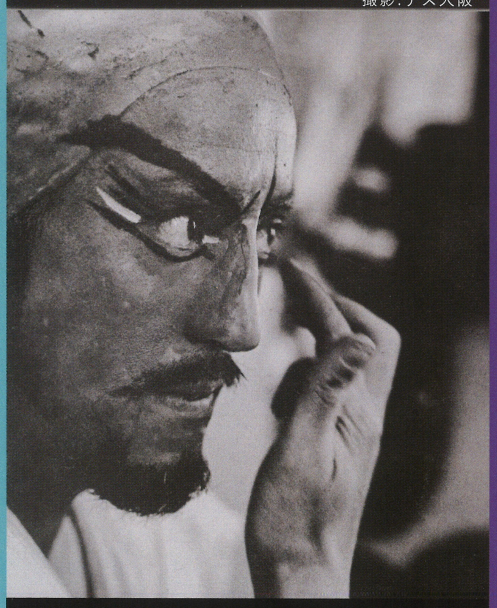
石田種生 world の世界

バレエコンサート2025

2025 11.22 SAT



撮影:テス大阪



撮影:テス大阪

開場17：30/開演18：00　［会場］安来市総合文化ホール アルテピア

9.20 チケット販売開始

全席自由席　(一般)2,000円　(高校生以下)1,000円
※当日券は各＋500円 ※1歳から要チケット ※0歳は膝上鑑賞可

チケット購入

【主催】島根が生んだ石田種生の世界

【後援】島根県、大田市、安来市、松江市、島根県教育委員会、大田市教育委員会、安来市教育委員会、松江市教育委員会、山陰中央新報社、TSKさんいん中央テレビ、日本海テレビ、山陰ケーブルビジョン、公益財団法人日本バレエ協会、公益財団法人東京シティ・バレエ団(順不同)

11.9(SUN)～11.22(SUN) 石田種生特別展示
会場：安来市総合文化ホールアルテピア 市民ギャラリー(無料)

【助成金】ごうぎん文化振興財団助成事業
松江市文化協会加盟団体助成事業

【問合せ・販売】島根が生んだ石田種生の世界事務局
ishida.taneo0411@gmail.com

facebook instagram

石田種生とは？

-日本の踊りをみせてくれないか…

戦後、モスクワ音楽劇場を訪れた石田。ロシア各地から集まったダンサーたちが故郷の舞踊を難なく踊る様子に圧倒された。バレエの道を究めても、祖国である日本の文化を表現できない。
その経験から、風土に根ざした日本的なバレエの創出を目指した。
彼の描く“風土”の情景には、故郷島根大田の風景と伝統芸能、そして兄たちが取り組んでいた劇団“三瓶座”が大きく影響していた。
本公演では世界で活躍した振付家・舞踊家石田種生を育てた文化芸術と、作品に描かれた島根の風景を追い、彼の目指した新たな舞踊を、より多くの人々へお送りする。

1929年、島根県大田市の老舗料亭『仁万屋』の5男として生まれた。1950年慶応義塾大学文学部美学科へ進学し、そこでバレエを始める。1954年、松山バレエ団に入団し、『白毛女』『祇園祭』などの創作作品や『バフチサライの泉』などに出演した。1968年、東京シティ・バレエ団創設に参加。1970年、文化庁派遣在外芸術研究員として世界を巡った時、「文化、芸術を生み出すのは、その国の風土だ」と気づき、ヨーロッパで生まれたバレエの枠にとらわれず、日本の風土を生かした創作に励む。その後、原爆をテーマにした『ヒロシマのレクイエムーうしろの・しょうめん・だあれ』や『女面』『お夏・清十郎』などを発表。全幕バレエとしては『エスメラルダ』『白鳥の湖』などがある。また、スイス、アメリカ、韓国などのバレエ団から振付を委託され好評を博した。1980年代にはバイク事故により瀕死の重傷を負うが、度重なる手術とリハビリを経て復活し、東京新聞舞踊芸術賞や橘秋子賞特別賞といった舞踊界の権威ある賞だけでなく、旭日小綬章、紫綬褒章も受章している。2012年、肺がんにより永眠。83歳。

上演演目

風花、お夏清十郎、白鳥の湖第3幕、他小品等

●ゲスト出演者：武藤天華(貞松・浜田バレエ団)

武藤 天華

2025年度ダンサー会員

※50音順　※本公演出演者ではありません

石井 青依	石井 絆	石井 惺	石倉 麻鈴	板岡 花歩	板垣 花帆
岩下 柚香	遠藤 花	大櫃 璃子	景山 愛	景山 真斗	嘉村 実桜
河合 史保里	河本 綜一朗	古藤 心	杉原 光	千羽 理佳子	塚谷 胡春
津森 椿	津森 奈々	永井 美鈴	永瀬 優衣	柳楽 凛	橋田 美月
橋田 柚香	秦 昌子	秦 由美子	原木 希彩	福間 くるみ	堀江 凛
増田 朱俐	村松 夏帆	森脇 楓子	薮内 あおい	薮内 舞	

※2025年7月31日現在

島根が生んだ石田種生の世界 <会員募集中>

ダンサー会員、一般会員、賛助会員等さまざまな関わり方をご用意しています。詳しくはフォームからご覧ください。

会員募集　ホームページ